

最高裁判所 (第三小法廷) 平成●●年 (〇〇) 第●●号、平成●●年 (〇〇) 第●●号 所得税並びに消費税及び地方消費税更正処分等取消請求上告兼上告受理申立事件

国側当事者・国

平成24年7月17日棄却・不受理・確定

(第一審・岡山地方裁判所、平成●●年 (〇〇) 第●●号、平成23年8月10日判決、本資料261号-141・順号11731)

(控訴審・広島高等裁判所岡山支部、平成●●年 (〇〇) 第●●号、平成24年2月16日判決、本資料262号-33・順号11883)

決 定

上告人兼申立人	甲
同訴訟代理人弁護士	福川 律美
被上告人兼相手方	国
同代表者法務大臣	滝 実
同指定代理人	石村 竜太

裁判官全員一致の意見で、別紙のとおり決定。

平成24年7月17日

最高裁判所第三小法廷

裁判長裁判官 岡部 喜代子

裁判官 田原 睦夫

裁判官 大谷 剛彦

裁判官 寺田 逸郎

裁判官 大橋 正春

(別紙)

第1 主文

- 1 本件上告を棄却する。
- 2 本件を上告審として受理しない。
- 3 上告費用及び申立費用は上告人兼申立人の負担とする。

第2 理由

1 上告について

民事事件について最高裁判所に上告をすることが許されるのは、民訴法312条1項又は2項所定の場合に限られるところ、本件上告理由は、違憲及び理由の不備をいうが、その実質は事実誤認又は単なる法令違反を主張するものであって、明らかに上記各項に規定する事由に該当しない。

2 上告受理申立てについて

本件申立ての理由によれば、本件は、民訴法318条1項により受理すべきものとは認められない。